を

担

0

1 ル

ナ



## ちょうようきん

## 7 骨 い筋 り、身筋の ては 体のい

曲 げ 重 要 伸 ば L や歩の3る腰 体行深つ大か 幹時いの腰ら のの場筋筋脚 安股所肉・の 定関にの小付 な節位総腰け

筋肉内と側 す。 てな 外 7 ツ マい役 大腰筋

ンス

]

るは

な

筋腰内の右の側のかスイ に出らル がが番図 あ来触とナ る ることを あ覧 て き内る に 臓筋 に し 臓筋 6す。 あを 取り しい。 知 6 な ると お

> トスなて レポ筋お おをの? ツ 肉か起に 腸 11 1 こさ要筋 でな =  $\mathcal{O}$ け で グ れななは は ばい筋 回いた関間 11 そはけめでが を おの腸なにあ 伝働腰いもり、 0 l 筋大鍛、切え腰 きと え て ょ

小果定筋とれと段肉きな筋大大ま小腰たさ肉下るしをで上い肉腿大腰す を て上すげでで骨腰筋 せの半筋 るかるい てるひ身肉 の筋 日常的ときなど重 ら動ま背内は 作す 骨側腰 。とに推 歩に ぐ どく使太大付の 要 まに な体数た多 を とわも腿い前ん 役幹少上くはきれも骨 て面 をな半使 じやるを をいか を安い身わめ階筋引つるら

# う

の盤き をん

2025年 11月号 荻窪接骨院 荻窪治療室

腸指にるななはる常る大を りま股傾奥腸骨し大たいか大役動 す関やに骨筋ま腰め人に腰割作階筋ポ。節、あ筋。す筋、もは筋がや段とし ~ す筋 もは筋がや段 لح と腸い小にあ 腸腰る腰比り体上様す 骨筋と筋 べま幹るに をと 筋 と言がてす 。安い歩肉 の言わつ小 えれいさ小定 2 で とばててく腰さた を主いい 筋せ日走

前ね

. 引 く 脚

黒ま体付や腿腸重下りて前も 明が人の黒人せ幹着小骨骨要 人のんのし腰に筋なと 維て筋付は役い 節 あ筋 持いとい骨割っ歩を太るはち にな違 て盤をた行曲も筋腸 おの担、やげも肉腰のり、からり、 はいっおの担 こて `の**つ** 側筋常段働引 か骨大か肉動のきき骨中き でん らに腰方で作上が上盤、、は筋大す。 りあげの最

筋

選

手

が日手

選

Rり腰 の大 筋 短腰 Ι は、距筋 検太 いア 離 ジ選

証とア手

収速発めるに獲縮筋達、必瞬物

大殿筋

ツ殿 よ達 て てだ 11  $\mathcal{O}$ ぶ 見 き筋 分たか目  $\mathcal{L}$ り にはあ

大腰筋と、 大腰筋と、 大腰筋と、 から、脚がた がら、脚がた がら、脚がた 大腰筋と、 がが 大脚を前に 大脚を前に 大脚を前に 大脚を前に 大脚を前に 大脚を前に 大脚を前に 大脚を前に 大脚を がが のな飛

に獲す種にい ま肉 耕 す。質 民 族 の黒の

て筋がに が筋い線あ移る民在民 ま維る動た族 めはまと明のいね」選 い多い農耕 、マラソン が維の多い

民

 $\mathcal{O}$ 

11

う

ンい

は民

選狩短

遅族選

筋の手

ま

従

0 1)

離

速わと

、ます。 っるため、

遅

力肉運

がの

は酸

動

度が遅 す。

ため て

距持



そ 酸 素の L

でのん

くか消運が

効

です。

両

いけ挑

両

脚 7

を

ŋ

4

ま ゆ

څ و

よの

果 発

的に

活

な

もげに

ちれもが

ば

と上

げ

て

きま

げ

切

0

たところでグ

ツ

ここから

脚

を

す

脚

げ

腰

・」っては「腸腰

聞解動ル

と肉発働農酸い必縮 達心が財民  $\mathcal{O}$ 収 運 て要いな 縮 族動  $\mathcal{O}$ 速 は 収度 また 長 言 筋有縮がす 時 わ 遅 れ 久筋素酸い遅 遅筋: に 素筋筋 わ が緑維が を 肉 た 線黒はあ収とどのと様人速り縮言要こ る

え筋しの 11 を 便 ます 鍛 ま 秘ぜ口

え

な

P れ

ょ

ね。

で

グ方れ

をは

お腸

伝 腰

方法

## つても ます。 ţ

 $\vdash$ 

レー

げ、 ま 上げ す。 を 浅 つ 切ゆつ か腰 0 つくりと右脚 みか け 背 7 筋 両 を伸 手 で

腰筋の収縮なたところで (縮を感 旦

また

両

脚

5

口 K

を

目

10

なださ

レい

1

ニン

グ

出かり

£

でかを

回すな意

て

を降ろし、次にゆっくりと右脚 左 を 脚 降 じてくださ いを 0

と上げ、 ったところ をゆ っく ŋ

筋のす。

IJ 腸

筋

がを

あ強

り化

腸 後

すると多く

き  $\mathcal{O}$ 

きたた

Ĺ

ま

3,6,

ることに

よっ

7

筋

力 ツ

低

下

のは

正骨

すかない。ます。

力 前

]

腸ブの腰

さ

て、

を の

腸

腰

筋

に

戻

L

ま

筋強

化

メ

IJ

ツ

ゲッ 腸 での大事などのためには のためには でのためには い返切 では さ 肉 縮 とは、 分腸 せ ることで か腰 せ セ れ ット つ筋 ま をてが 上行10い سلخ

骨

 $\mathcal{O}$ す

歪

4

を

元て姿

予

腸 防

腰に

です。 して させ くりと 1 す。ここかないき、床にいき、床にいき、床にがえかった。 します。 なす。ゆりの タ ま に ろ 0

にこで 腸腰筋 上げた

 $\mathcal{O}$ 

腰筋がた

この使は、

縮れ筋

ます

腸

腰

くときには

筋と

腰

を 7

1

ま

す

度近, 腸 を上 両

は

使 < 筋

ず

識のわま



ドれ 5 レ目 回出来ると 標に ッ はかなりハーニング グレ 頑 来るように イズ 張 いってみ グ ま す 10カ ょ . څ 口 を

を収縮されている がかたとう がたとう を取りと を取りと 次 は ま غ レ 向仰ッ 両 けて置いがレイ 上脚 を上 きまっ げ ズ なて手の記念 Ć す。 1 き、 ゆ 5 介

たところ 腸 さ で とき せ 腰 ま 筋 で

## 患者様の声を お聞かせください

下記 QR コードを読 み込んで、治療を受け た感想などをお聞か せください。今後のよ り良い治療に活かし ていきます。



参考文献 いかがるようになっ かす 献 う おれ あ 目安に行いったか?明 t テ ル ば 0 Ł シ てどん Η 上 か鍛 ツ Р ず ŋ えること ス カゝ S ただけ な働 ? て く A V ツ K ださ Α き腰 が 0 S を 出 て 筋 株

床に対 が ス タ トポジシ 日

荻窪接骨院・荻窪治療室ホームページ https://www.ogisetu.com